

質 疑 回 答 書

回答日：令和 8 年 3 月 3 日

競争参加者各位

高知工科大学 広報課

高知工科大学広報誌Flying Fish制作等委託業務 公募型プロポーザル 高大企25-010

| No. | 質 疑 事 項 | 回 答 |
|-----|--|--|
| 1 | 企画提案書等作成要領の 8 ライターの実績一覧で、社内・社外の複数のライターが参加します。この場合、全員の文章見本が必要になりますか。 | 複数のライターが参加する場合、研究の記事をメインで執筆するライター 1 名の「実績一覧」と「過去に執筆した文章 2 つ」を必ず添付してください。加えて可能ならば、その他の企画をメインで執筆するライター 1 名以上の「実績一覧」と「過去に執筆した文章 2 つ」も提出してください。 |
| 2 | 幅広い層に向けて作る広報誌ということですが、高校生、在学生、その保護者世代、市民、県民、卒業生、その他、それぞれの想定比重を教えてください。 | 大学が今後、将来にわたって発展していくためには、高校生をはじめとした若い世代に一番、手に取ってもらいたいという思いはあります。ただ現在、本学の受験を検討している段階の高校生に向けては「大学案内」という冊子も発行しており、「広報誌」はその前段階、若い世代の大学や研究、科学技術への興味関心、あこがれ等を醸成するきっかけになればと考えています。あわせて「広報誌」は、「大学案内」ほど高校生（その保護者含む）にターゲットや情報を特化せず、広く現役世代の知的好奇心も刺激し、大人も満足させる内容やデザインを目指しています。以上を踏まえ、想定している比重は、高校生・在学生など若い世代：4 割、現役世代（保護者、市民、県民、卒業生含む）：6 割ほどと考えています。 【参考】「大学案内」 https://static.kochi-ebooks.jp/actibook_data/sch-kokadai_kutway-2026_r0706_20250620_00/index.html?detailFlg=0&pNo=1 |
| 3 | 配布先それぞれの比重を教えてください。 | 現在の配布先の比重は、全国の高校や学習塾に約 2 割、在学生の保護者に約 1 割、県内の図書館・空港・県立施設・コンビニエンスストア・量販店等に約 3 割、四国内の企業に約 1 割、卒業生に約 3 割です。なお来年度以降、卒業生については希望者に対し、紙での発送は停止し、Web版への誘導を行っていく見込みです。 |
| 4 | 一番手に取ってほしい読者層を想定した配布先はどちらでしょうか。 | 高校生など若い世代、またその親世代をはじめとした一般への訴求が見込め、エンゲージメントが高められる読者層との接点として、全国の高校や学習塾、中四国の図書館や書店、県立の文化施設などでの配布を想定しています。 |

| No. | 質 疑 事 項 | 回 答 |
|-----|---|---|
| 5 | 表紙は保護者がメインターゲットとのことですが、誌面を読ませたいメインターゲットは誰でしょうか。 | 誌面を最も読んでほしいのは、高校生をはじめとした若い世代です。しかし、「質問No2」への回答のとおり、受験に関わる情報に特化した冊子ではなく、一般の読者も想定した広報誌です。したがってティーンズ向けの雑誌のような若い世代のみをターゲットにした表紙ではなく、大人も手に取ってみようと思える品位と、若い世代に敬遠されないデザイン性を表紙に求めたいと考えています。 |
| 6 | 紹介したい学部の優先順位を教えてください。 | 5学群等しく、その学群の強みや魅力、将来性などについて紹介する機会を設けたいと考えています。とはいえ、各号単位では、大きな研究成果が得られたり、新施設ができたり等、旬の話題、タイミングがありますので、テーマに応じたメリハリは必要だと考えますが、広報誌全体を通しては、5学群をバランスよく紹介していきたいと考えています。 |

※用紙に収まらない場合は、頁及びNo.を追加して記載してください。